

2006年2月23日
MR/J07/06



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

2006年国際女性の日 第5回公開フォーラム開催のお知らせ “Women in Decision-Making” 女性と意思決定～実り多い社会をめざして～

日時： 3月8日(水) 14:00-17:30 (受付開始 13:30)
場所： UNハウス ウ・タント国際会議場 (UNハウス 3階)
共同主催： 国連食糧農業機関(FAO)、国際労働機関(ILO)、国連開発計画(UNDP)、国連環境計画(UNEP)、国連人口基金(UNFPA)、国連ハビタット(国連人間居住計画:UN-HABITAT)、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)、国連広報センター(UNIC)、国連児童基金(UNICEF)、国連訓練・調査研究所(UNITAR)、国連人道問題調整事務所(UN OCHA)、国連プロジェクト・サービス機関(UNOPS)、国連大学(UNU)、国連世界食糧計画(WFP)

資料：

国連女性の地位委員会第50会期の報告によると、世界的に見て、リーダーまたは決定権を持つ女性の数の伸びは、遅れている。

- ILOの研究(期間：2000年から2002年、対象国：48)によると、ビジネス分野でマネージメントに関わる女性の割合は、全体の20-40パーセントという結果が出ている。
- 世界的に、国会において女性が占める割合は、16パーセントであり、また、国連加盟国191カ国のうち女性党首がいるのは、わずか11カ国である。
- 更に、学術界では、リーダーとしての女性の採用が遅れており、どの国でも、大学の総長を務める女性の割合は、20パーセント以下となっている。

フォーラムについて：

- 本フォーラムのオープニングには、コフィー・アナン国連事務総長のメッセージ(国連大学学長、国連事務次長ハンス・ファン・ヒンケル 代読)が予定。また、国家元首(リベリア、ドイツ<仮>)および在日女性大使(コートジボワール、ルクセンブルク、マリ、トルコ)によるビデオメッセージの放映も予定されている。
- 基調講演者および、パネリストは以下のとおり。
基調講演：佐藤ギン子(財)女性労働協会名誉会長、(株)日立製作所取締役、前証券取引等監視委員会委員長
パネリスト：堀井 紀壬子 NPO法人GEWEL 代表理事/永峰 好美、株式会社プランタン銀座取締役/グレンダ・ロバーツ 早稲田大学アジア太平洋研究センター教授
- フォーラムへの入場は無料。事前登録は必要。
詳しくはhttp://www.unu.edu/hq/rector_office/events2006/womensday2006.pdfまで。
- 当日の様子は、ウェブキャストでも閲覧可能。<http://c3.unu.edu/videoportal/?2>
尚、英日の同時通訳があり。
- パネルディスカッション終了後、国連機関によるジェンダー関連の活動ブースの閲覧可能。

取材ご希望の方は、国連大学広報部、担当：谷野(やの) (TEL:03-3499-2811、03-5467-1311、FAX: 03-3406-7346; e-mail: media@unu.edu) までご連絡ください。



国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された、本部(東京)を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。

<http://www.unu.edu/>

MEDIA ADVISORY